

まつしま

議会だより

第146号

令和3年5月1日発行
宮城県松島町議会



マスクでしっかり感染対策！（撮影場所：磯崎保育所）

- ◇ 予算はどう使われるのか…………… P 2
- ◇ 新年度予算を問う…………… P 4
- ◇ 議案審議…………… P16
- ◇ 9人の議員が熱弁（一般質問）…………… P24
- ◇ 町民の声…………… P34

令和3年
第1回 定例会

[3月3日～3月18日]

令和3年度

当初予算総額 116億5275万円 原案可決

一般会計予算 56億3千万円

主に、認定こども園建設・新型コロナウイルスワクチン接種費用など



予
算

櫻井公一町長は、令和3年第1回議会定例会開会にあたり、東日本大震災復興事業が概ね完了することを報告し、全国の自治体からの職員の派遣支援に対して感謝を述べた。令和3年度の施政方針では、「震災復興から地方創生へ主軸を移し、活力ある松島の実現」とし「大型イベント等を利用して観光客を呼び込めるよう近隣自治体と連携しながら本町の特色を広く発信していく」とした。また、「財政需要の高まりを受け厳しい財政状況だが、適正な行財政運営に努める」と示した。

単位：千円

事業名	事業費
認定こども園推進事業	39,091
小森ため池災害復旧工事	43,597
高城町駅周辺整備事業	10,254
道路舗装事業	2,213
初原樋田地区 雨水対策検討業務委託	1,500
町民グラウンド 照明LED更新工事	16,500
新型コロナウイルス ワクチン接種対策事業	57,570
自死対策強化事業	2,161

令和3年度の主な事業

新型コロナウイルス感染の收拾がつかない中、議場では消毒やマスク着用など徹底した感染対策を取りながら、令和3年第1回松島町議会定例会が令和3年3月3日から18日まで開催された。

初日には、櫻井町長から新年度における施政方針が表明された。

新年度予算は、予算審査特別委員会に付託、慎重に審査されて令和3

年度松島町各種会計予算を原案のとおり可決した。その他提案された議案は19件（専決処分報告、条例の制定・一部改正・廃止、補正予算、工事請負契約の締結・変更協定の締結）を審議の結果、すべて原案のとおり可決した。

一般質問は、9人の議員が各々の視点から町政について質問した。

令和3年度 一般会計56億3000万円

歳入歳出予算

松島町民1人あたりの支出予算額
41万4153円

災害復旧費 3,391円
議会費 8,509円
農林水産業費 11,243円
商工費 12,399円
労働費 3,681円
消防費 18,566円

公債費 37,723円

衛生費 36,127円

土木費 47,170円

予備費 736円

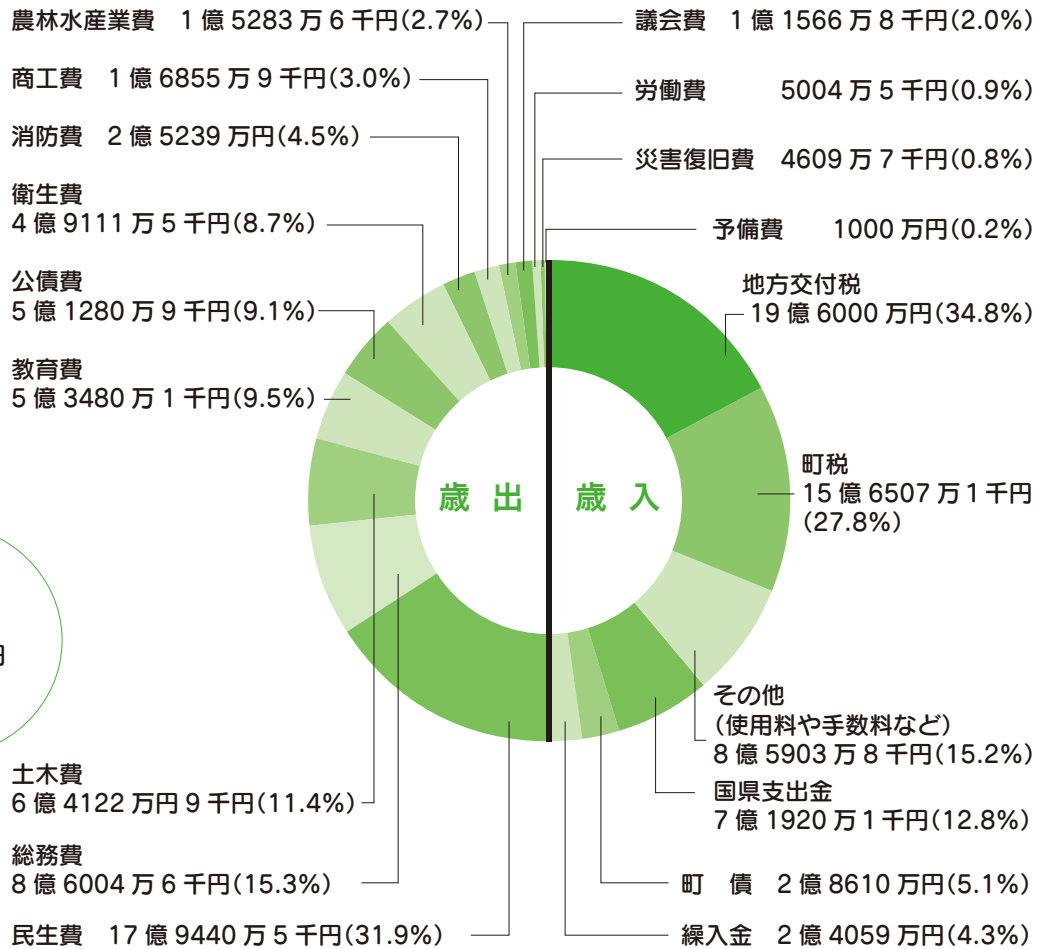
教育費 39,341円

民生費 132,000円

総務費 63,267円

令和3年3月末人口1万3594人とした場合

※端数処理をしていますので、合計値等が合わない場合があります。



歳出(性質別)

項目	令和2年度	令和3年度	増減
人件費	13億4133万円	13億1199万円	△2934万円
物件費	12億4965万円	12億6623万円	1658万円増
繰出金	16億5302万円	8億7390万円	△7億7912万円
補助費等	9億3029万円	8億4268万円	△8761万円
扶助費	5億3293万円	5億4848万円	1555万円増
公債費	5億1439万円	5億1281万円	△148万円
普通建設事業費	11億3979万円	7636万円	△10億6343万円
災害復旧費	11億7215万円	4450万円	△11億2765万円
その他	1億5443万円	1億5303万円	△140万円

性質別歳出とは

歳出のどのような性質の経費をどのくらいの金額になるかを示しています。

- ・人件費・・・町長等の特別職、一般職員の給与と議員報酬など。
- ・物件費・・・消耗品費等の事務費や委託料など。
- ・繰出金・・・特別会計に支出される経費。
- ・補助費等・・・ごみ処理や消防などの負担金。
- ・扶助費・・・児童、高齢者や障がい者に対するもの。
- ・公債費・・・町が借りた地方債の返済金(元利償還金)
- ・その他・・・基金の積立や出資金・貸付金など。
- ・普通建設事業費・・・道路などの公共施設の工事費
- ・災害復旧事業費・・・災害で被災した公共施設の原状復旧工事費

議会中継はじまりました



現在は、庁舎内での視聴となりますが、今後はインターネット中継を目指します。

令和3年度の各種会計予算

会計名	令和3年度	令和2年度	前年度当初比	
一般会計	56億3000万円	86億8800万円	▲35.2%	
特別会計	国民健康保険	18億5950万9千円	18億5571万3千円	0.2%
	後期高齢者医療	2億1035万4千円	2億1103万円	▲0.3%
	介護保険	20億2673万円	19億9701万2千円	1.5%
	介護サービス事業	889万5千円	905万4千円	▲1.8%
	観瀾亭等	8274万1千円	9404万6千円	▲12.0%
	松島区外区有財産	128万5千円	190万5千円	▲32.6%
	下水道事業	9億8831万9千円	18億2533万7千円	▲45.9%
水道事業会計	8億4492万2千円	14億7759万7千円	▲42.8%	
合計	116億5275万4千円	161億5969万4千円	▲27.9%	

新年度予算を問う

総括質疑



令和3年度施政方針を説明する櫻井町長

総括質疑とは・・・？

詳細な予算審査は特別委員会の各分科会に分かれて行うため、各議員が町の施政方針や新年度予算の内容について執行部から説明を求めるものです。

総括質疑



杉原 崇
議員

ふるさと納税による税収確保を

問 自主財源の確保のために、返礼品の魅力を発信すると同時に、寄附する仲介サイトを増やしていくべきでは。

町長 なかなか数字が伸びていない現状であるが、返礼品において松島の食の魅力など松島らしさを出して、ふるさと納税確保に努めていく。

漁業者支援を

問 牡蠣の水揚げ高は1月末現在の前年比で、数量が64%、金額では48%と半分以下である。コロナ禍での影響は当然あるが、後継者育成も含め、持続可能な漁業に繋がる支援策の考えは。

町長 消費が伸びるようなイベント等の事業など一次産業の発展につながるような施策を行い、今後、若い方々の意見を聞きながら、進めていく。

町民への消費喚起策は

問 コロナ終息まで町民の皆様には地元店舗を利用してもらい、みんなで支え合うことが大切であると考えますが、町民への消費喚起策についてどのような考えを持っているのか。

町長 これから店を維持するのが大変だという話を聞いており、今後事あるごとに町内で町民の方々がまずはお買い物等に出ていただくようにしないとイケないと思う。学校の食材にせよ何にせよ応援できることはしっかりとやっていく。

高齢者への情報発信は

問 高齢者が安心して暮らせる町として、高齢者に向けての災害時における情報発信・伝達にどう取り組んでいくのか。

町長 高齢者の安心・安全のため、情報伝達のラインをしっかりと取っていただくように、今後お願いをしていく。また、高齢者の見守り安全隊として、各地区の民生委員の方々と、今回の2月の地震を踏まえての情報共有を確認するように今後やっていく。



高橋 幸彦
議員

今後の財政運営は

問 一般会計の予算が56億3000万円と大震災前の規模になったが、町長の独自色はでているのか。

町長 令和3年度には主なハード事業が完了予定であり、今後は少子化の中で町の財源を活かす工夫が大事である。また、コロナ感染症対策は国の臨時交付金を活用し、関係機関や町民の方々の協力を得ながら、感染症対策を進めていく。さらに、集会施設等の利活用を本気で進めていかなければならない。

問 避難施設等を含めた公共施設の維持管理の経費負担が課題ではないか。

町長 各地区の集会施設等も含めた全ての集会施設について、今後の町の取り組み方を区長会等できちんと説明している。

問 新たな地区計画策定はあるのか。

町長 まず初原地区を考えている。また、町道根廻磯崎線沿いの根廻、愛宕、動伝地区を今後考えていく。

問 町道の舗装率は。また優先順位は。

副町長 4m以上で93・8%、4m未満で67・7%程で、町道全体で約80%である。限られた予算の中で対応するため、地区の優先順位を加味しながら、偏らず町内一円均等に進めていく。

健康ポイント事業とは

問 新年度予算の中で新しい事業として「健康ポイント」があるが。

町長 町民の受診率を上げ、健康に対する考え方を少しスキルアップしたいという取組みである。

健康長寿課長 対象は18歳以上の町民で、実施期間は周知期間を含めて6ヶ月としている。実際に町民の方に取り組んでもらう期間は8月から10月と考えており、この間に町の健康診断がある。6月に事業の周知を予定している。



総括質疑



赤間 幸夫
議員

行財政改革推進への考え

問 厳しい財政状況を背景とした行財政改革推進施策は、計画を立て着実に推し進めていかなければならないが、どのように考え取り組もうとするのか。

町長 令和3年度からは、震災復興事業が終わり、町の財政だけで運営していかねばならない。どれぐらいの必要経費があり、どのような予算を配分していったらいいのか。まずは、職員を意識を切り替えていく。

副町長 平成22、23年頃までは、使用料や人員削減など様々な面に取り組んできた経緯がある。その後震災があり、手がつけれなかった。震災から10年が経過し、財政規模も60億円前後と震災前に戻ることから、改めてスタートする考えである。

財務課長 職員に、町の財政状況を知ってもらうこと、更に施設維持管理経費や管理・義務的経費の抑制を図っていく考えである。

定住・企業誘致策は

問 定住促進として都市計画区域の見直しや企業誘致活動を展開していく考えとは、どのようなものか。

町長 松島町が存続するには、人口減少に歯止めをかけないといけない。子どもたちが育たない町はさびれていくとの考えの基に、町がきちんとスタンスをもって進めていく。

年内中には大手企業の研修センターも開設される運びとなっており、松島町の発信には絶好のチャンスと捉え、大手企業による後方支援をいただいで、企業誘致をしていきたい。また、都市計画の見直しにより明神地区に、できるだけ早く何らかの商業施設をもつてきたいし、品井沼駅周辺の空き宅地への居住促進策も図っていきたいと考えている。

水害軽減対策は

問 町全域を通して、集中豪雨等による水害地帯や河川氾濫箇所に対する水害軽減対策は、どのように考えているのか。

副町長 国・県に関わる部分は、要望活動等を通じて実現してきている。町内については、地域をランクづけながら区分けし、予算との見合いで検討設計による手法や排水ルートを検討した結果を受け、着手していく考えである。

ほかに、事故多発路線の解消、高齢者支援、外国人マナー啓発、町史編纂の考えなど質問。



菅野良雄
議員

問 施政方針で「賢い縮小・賢い支出に努めながら、効率的かつ効果的な財政運営」と示しているが、具体的に示せるところがあれば、伺う。

町長 財政が大変硬直化していると私自身も捉えている。「私たちの代の負担は私たちの代で」が合言葉になっており、鋭意努力していきたい。

問 町内には、東日本大震災による津波・停電・断水・崖崩れ、また令和元年10月の台風19号による市街地の内水氾濫・吉田川の越流等の被害を受けており、防災・減災に関して、推進しなければならぬ事業はかなりの数になる。3年度に実施する事業予算の計上は。

副町長 事業実施の予算、補助金・交付金は計上していない。しかし、雨水対策等は取り組んでいるのでご理解いただきたい。

問 米価の下落等もあり、農業経営がさらに厳しい方向に向いている。3年度において本町の農政をどのように進めていくのか。

町長 国がどういう手だてをしてくれるのか課題であるが、農業を持続可能なものにするためにどのようにしたらいいのか、JA仙台等々といろいろな話し合いを重ねていきたい。

問 品井沼地区計画の活用について、年に2回ぐらいは工事進捗度の説明及び空き家や空き地の利用対策について、行政相談してもいいのではないかと。

町長 品井沼地区計画に芽が出てこないと周りに波及しない。品井沼の皆様が必要があれば、再度説明したいと思っている。

問 ICT活用に長けた教職員が不足していると聞かれている。本町においてICT教育にあたる教職員は満たされているのか。

教育長 満たされている。プログラミング教育を構築した情報推進教諭が子どもたちのトラブルに対応する。

ほかに、SDGsの取り組み、国土強靱化計画、福祉避難所、ICT教育の健康被害対策、特定不妊治療補助金、定住補助金、認定こども園、財政改革等について質問。



色川晴夫
議員

「東北デスティネーションキャンペン」の目玉は

問 今年4月から9月まで、東北デスティネーションキャンペンが開催されるが、目玉は何か。

町長 松島は瑞巖寺を筆頭に、伊達政宗が育む文化や景観、そして体験などをPRしていきたい。今後、コロナの状況によるが、早く「Gotoキャンペーン」の再開と東北デスティネーションキャンペーンが始まることで、観光関係を含め町の経済がよい方向に向かうのではと思っている。

松島湾再生の対策は

問 「松島湾アマモ再生プロジェクト」で、松島湾の環境保全に関するPRを実施するとしているが、その成果は。

産業観光課長 アマモ再生については、平成30年度から始まり津波の影響などの藻場を、震災以前の水準まで回復させることで、現在、松島湾全体で30%回復している。

初原バイパスと国道45号歩道整備は

問 初原バイパス構想は何年度から始まり、根廻交差点までの計画と国道45号歩道整備の現状は。

建設課長 初原バイパスは平成8年度から始まり、平成24年度末に初原まで完成したが、根廻交差点については、毎年要望している。利府町と共通事項であり今後も、両町一緒に取組んでいきたい。また、国道45号みちのく伊達政宗歴史館から第一小学校前までの用地買収一ヶ所残っているが、今後、誠意を持って対応し解決策を見出していく。

品井沼駅前の空き店舗活用

問 品井沼地区での地区計画で定住促進のためにも、店舗が必要である。以前松島海岸駅の空き店舗活用推進事業が行われたが、補助金を使った取組みは出来ないか。

町長 品井沼地区での会合で「ここは住みやすく、仙台にも近いのもっとPRすれば定住するのでは」という意見もあった。品井沼駅前のまちづくりの中に、難しいこともあるが商店も考えていきながら、定住したいと思ってもらおうようPR活動を行っていく。



片山正弘
議員

コロナワクチン接種体制は

問 本町は4月末よりワクチン接種予定であるが、副作用に一抹の不安を抱く町民の方もいるのではないかと。安心感を与えるように対策すべきでは。

町長 3月号の広報に資料を配布した。今後も全対象が終わるまで継続する。宮城県知事の下で、市町村長会議を開いて、各自自治体と協議を重ね県からの指導等に従って進めていく。

幼児教育施設の老朽化対策は

問 令和5年4月開園予定の認定こども園計画が進んでいるが、既存幼稚園・保育所等の老朽化が著しい。5年後、第一幼稚園・高城保育所等のこども園開園計画まで、格差のない施設整備をすべきでは。

副町長 既設の施設については、修繕を基本に対応したい。

新庁舎建設は

問 大震災から10年経過した。仮庁舎も8年が過ぎようとしている。土地所有者との協議進展はあるのか。

町長 昨年は、東京に行く機会が少なく、動けなかった。7月以降に土地所有者と町の考え方等々について話し合いをした。「新庁舎建設については未定であり、令和5年3月末で借地契約期間満了前に長期の契約更新したい旨をお願いした。」

問 当面、新庁舎建設は考えず、長期的に借地を続けて行くのか。

町長 長期的とは、10年以上の考えである。

問 仮庁舎には、議事堂もない。現在は、庁舎内だけ議場の映像配信をしているが借地延長になれば、全町に議場の映像配信をする考えはあるのか。

町長 長期的に借地が決定した段階で、映像配信と会議室の在り方についても今後検討したい。

明神地区の地区計画進展は

問 ドラッグストアの出店計画進捗状況は。

企画調整課長 先月、宮城県から開発許可が下りたと業者から連絡があった。地権者とも合意形成済みとのことであり、開発が進むと思う。

予算審査特別委員会

現地調査

3月9日に5ヶ所の現地調査を行いました。このほか、松島浄化センター（長寿命化改築工事）を調査しました。

町民グラウンド照明LED更新工事



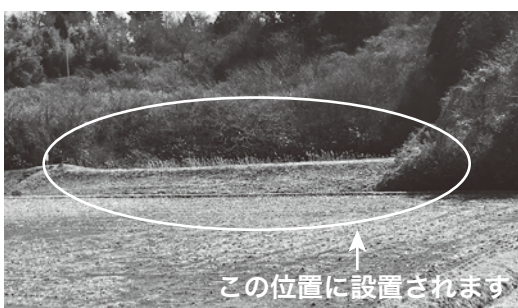
町民グラウンド（磯崎地内）

認定こども園建設予定地



町道根廻磯崎線（根廻地内）

ため池ネットフェンス設置工事



この位置に設置されます
写真は中才のため池
（他に後蒲ため池があります）

高城町駅前周辺整備事業



JR 仙石線高城町駅前（高城地内）

第1分科会 第1分科会が審査する課

議会事務局 / 総務課 / 選挙管理委員会 / 企画調整課 / 財務課 (松島区外区有財産特別会計) / 産業観光課 (観瀾亭等特別会計)

企画調整

主なつかいみち

広報広聴費	618万円	(△53万円)
企画費	1540万円	(△2億9173万円)
電子計算費	8162万円	(△374万円)

問 企業誘致の予算が少ないのではないか。整地等をした上で誘致すべきではないのか。

企画調整課長 初原地区に工場誘致するように動いている。今までは整地の関係もありなかなか具体化しなかった。対象となる初原地区は都市計画法の市街化区域に編入すべく今年5月に申請する。これにより企業誘致を積極的に発信することが可能になる。

企業誘致対策は

問 移住支援事業費補助金とは何か。

企画調整課長 地方移住事業の東京23区在住の方を対象に、事前登録している県内企業(240社)へ就職し、町内に移住した独身の方に60万円、2人以上の世帯には100万円を交付するものである。



企業誘致予定地 (初原地区)

総務・環境防災

主なつかいみち

職員人件費・研修等	2億6413万円	(710万円)
町民バス運行経費	4552万円	(836万円)
塵芥・し尿処理費	2億4492万円	(△1749万円)
消防費	2億5239万円	(△1488万円)
交通安全費	781万円	(△27万円)

※()内は前年度対比



新斎場のイメージ (塩釜地区消防事務組合提供)

新斎場の使用料は値上げになるか

問 各集会施設トイレを洋式化すべきてはないか。

総務管理班長 現在、集会施設の在り方を各地域と相談している。改修した方がいい施設もあるので順次洋式化にしたいと思う。

問 公共施設等総合管理計画を策定したが、集会施設の個別計画策定の見通しについて、区長との話し合いでどのように変化して行くのか。

総務課長 個別計画は、令和3年度を目標に策定する。すべて今まで通りで個別計画として成り立たないのが個

々の施設については引き続き話し合いをして行くという状況である。

問 新斎場は令和3年8月から供用開始とのことだが、パンフレットなどは作成するのか。また、新斎場建設に伴い使用料は値上げとなるのか。

総務課長 これから作成することになる。使用料の値上げは行う。区域内(2市3町)の利用者は1万5000円から2万円へ、区域外利用者は3万円から6万円となる。

予算審議

財務・税務

主なつかいみち

ふるさと納税費	4390万円	(△114万円)
財産管理費	6873万円	(△79万円)
賦課徴収費	3644万円	(△721万円)

産業観光

主なつかいみち

農業振興費	1569万円	(27万円)
園芸・林業振興費	4234万円	(△35万円)
商工振興費	5613万円	(△10万円)
観光費	5806万円	(△465万円)



完成した町道磯崎根廻磯崎線（磯崎側）

野菜を作る法人参入へ

問 桜渡戸地区は、農業振興地域から外れており、条件が非常に悪い。町が目を配り、区画整理をしなければ将来荒地地となる可能性が高い。何か手立てを考えるべきではないか。

産業振興班長 桜渡戸地区と初原地区には後継者がいなくなり耕作放棄地が増えていくものと認識している。計画段階ではあるが、地区の一部の田を畑化して野菜を作ろうと法人が試験的に参入する予定である。実証してうまくいけば、耕作放棄地の解消にも繋がるため、支援の計画をしている。

問 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、松島海岸を中心とする事業者から町に対する要望は出ているか。

観光班長 今年に入り観光協会から要望があった。個別支援以外にGotoキャンペーンのような誘客に繋がる支援をして行きたい。

地価の上昇率は

問 町道磯崎根廻線等の道路が完成すると周辺の土地の地価が上がると思うが、上昇率は分かるか。

税務班長 道路幅が6m以上になると周辺の路線価は基本的に上がる。路線化毎、地域・用途によって異なるため一概には言えない。

問 スマートフォンによる納税が始まるとのことだが、町としてどのように考えているのか。

滞納整理室長 導入当初の利用者はあまり多くは無いかもしれないが、徐々に増えればと考えている。

問 入湯税の減額率が低いと思うのだが。

滞納整理室長 3月定例会で2000万円程減額補正している。昨年の3・4・5月がほとんどなくなっており、約13万人分が減となっている。財政的な立場からすると経済的な動きも加味して希望的観測も含め見込んでいます。



観光客数の回復を期待

第2分科会 第2分科会が審査する課

企画調整課（認定こども園準備室） / 町民福祉課（国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計） / 建設課 / 教育委員会
健康長寿課（介護保険特別会計・介護サービス事業特別会計） / 水道事業所（下水道事業特別会計・水道事業会計）

町民サービス・福祉・こども

主なつかいみち

戸籍住民基本台帳費	4308 万円 (△668 万円)
障害者福祉費	3 億 3870 万円 (2233 万円)
保育所費	2 億 9815 万円 (2280 万円)

下水道・水道

主なつかいみち

下水道事業特別会計	9 億 8832 万円 (△8 億 3702 万円)
水道事業会計	8 億 4492 万円 (△6 億 3268 万円)
合併処理浄化槽設置事業	466 万円 (40 万円)

※()内は前年度対比

予算審議

想定外の雨量への対策の検討を

問 台風19号で多くの被害が出ているが、雨水対策の検討をどのように進めていく予定なのか。

水道事業所長 令和2年度に庁舎内の技術部門の職員で検討組織を立ち上げ、水害のリスクがある19ヶ所をピックアップした。建設課とも協議しながら対策を検討していく。

問 大雨によりゴミがすぐに溜まってしまふスクリーンの管理はどうなっているのか。

水道事業所長 菱又地区では、ゴミ上げを処理場の管理業者で週2回と、毎週金曜日に町が直接行っている。
町長 雨が降る前でもゴミが溜まった情報を提供してもらおうなど、地域との連携が必要である。

民生委員・児童委員のなり手の確保を

問 マイナンバーカードは健康保険証としても今後使えるようになるが、役場にカードを持って来れば申し込みもできるのか。

町民サービス班長 自分のスマートフォンからでも設定はできるが、役場でも設定支援はしている。しかし、健康保険証はオンライン確認システムを医療機関が導入しないと使えない状況である。
問 民生委員・児童委員の高齢化が進み、なり手の確保が難しくなっている。

福祉班長 改選の前年度に区長宛てに地区での推薦依頼を文書で行い、区長会でも再度依頼をし、夏頃に推薦会を行い、宮城県に推薦書を提出している。役場でも、個別にお願いには回っている。

0120-95-0178



夕陽が丘入口付近のスクリーン

(新規)

認定こども園推進事業費
3909万円

社協へのサポート体制の強化を

問 社会福祉協議会に認定こども園建設や運営のノウハウはあるのか。

企画調整課長 建設や運営は町がサポートしていく。社協は運営に長けている園長等を外部から連れてくる考えがあるようである。

学校教育・生涯学習

主なつかいみち

小学校費	8752万円	(△463万円)
中学校費	4523万円	(△6941万円)
社会教育・保健体育費	2億2826万円	(419万円)
地域交流センター費	511万円	(△7万円)

問 こども英語ガイドの実施は。
学校教育班長 従来どおりのやり方は難しいが、オンライン等を活用し、工夫してやっていきたい。
問 不登校の状況は。
学校教育班長 2月末で、一小7名、二小2名、五小1名、松中13名いる。大きな原因は全員把握している。いじめが原因ではない。

地域交流センターの有効活用を

問 東部地域交流センターは、多額の予算の割には収入が少ないが、施設活用策は。
中央公民館長 以前から利用者の確保が課題となっている。パンフレット等を2市2町の公民館に配布する等の対策をとっており、利用実績が出ている。今後も活用策を考えていく。



東部地域交流センター

長寿・介護

主なつかいみち

老人福祉費	2億9920万円	(△1454万円)
保健福祉センター管理費	4468万円	(△195万円)
母子衛生費	1098万円	(△38万円)
予防費	7494万円	(△25万円)

宅配夕食サービスの値上げの説明をしっかりと

問 宅配夕食サービスの自己負担を50円値上げする理由は。
健康長寿課長 見守りに掛ける経費など当初はかからなかった費用が増えている。4月から半年掛けて説明し、一人の事情を聞いていく期間を設ける。

建設・施設管理

主なつかいみち

農業用施設	1063万円	(△139万円)
道路橋梁費	9275万円	(△4億9536万円)
河川費	428万円	(147万円)
公園(児童・街区他)	559万円	(△42万円)

用地買収を進めるためには

問 用地買収がなかなか進まない箇所(国道45号の松一小くみちのく伊達政宗歴史館の歩道や愛宕交差点の用地)について町で先行取得し、国交省へ協力していく考えは。
建設課長 町での先行取得は有効であると思うが、国道45号の用地買収難航箇所は、看板の補償費や土地所有者の相続が問題となっていることから難しい状況である。

特別委員会からの意見・要望

予算審査特別委員会を開き、第1分科会（総務経済常任委員会）、第2分科会（教育民生常任委員会）に分かれ、令和3年度一般会計予算と特別会計予算、水道事業会計予算について6日間の審査を行った。その結果、以下の意見・要望等を集約して町長に提出した。



予算審査特別委員会 杉原崇 委員長

農業支援について

農業従事者の高齢化が進み、離職者も増えている。コロナ禍において、米価が下落し、松島町の農業が更に衰退することが懸念される。国や県と連携を図り、町としての有効な支援策を考慮すべきである。

企業誘致について

企業誘致に関しては、初原地区等で精力的に取り組んでいる。具現化に向けて、更なる努力を望む。

定住促進について

地区計画地域の詳細な情報の周知を図り、地域活性化に向けた新たな支援策を望む。更に、若い世代を呼び込むための住宅政策を検討すべきである。

予算執行について

コロナ禍で町税が減収になる等、厳しい予算となっている。予算執行にあたっては、住民サービスが低下しないよう努めるべきである。

ゴミの分別について

集積所へのゴミの搬出について、分別方法の検証を図り、再資源化を効果的に進め、地球温暖化防止対策の啓蒙を行うべきである。



桜渡戸地内の農地



ゴミ集積所

雨水対策について

近年、ゲリラ豪雨等の道程外の雨量が発生しており、既存の排水施設では雨水対策への対応が困難な状況にある。

排水ルートの分散等を検討すべきである。

民生委員・児童委員の確保について

民生委員・児童委員は3年間の任期であるが、委員のなり手不足が生じている。

町は、各行政区と連絡を密にし、なり手不足の解消を図りたい。



認定子ども園建設予定地

認定子ども園開園に向けて

令和5年4月の認定子ども園開園まであと2年である。

開園に向け、社会福祉協議会へのサポート体制の強化を望む。

宅配夕食サービス事業について

宅配夕食サービス事業の利用者が年々増加している。

町は令和3年10月から宅配夕食の価格を50円値上げするとしているが、利用者に対し十分な説明と周知を行い、かつ理解を得る対応を望む。



お晩ディッシュ（宅配夕食サービス）



危険ブロック塀等除去事業について

町内の危険ブロック塀等については、平成30年の調査で33ヶ所の内6ヶ所しか撤去改修が行われていない。

特にスクールゾーン内では7ヶ所の内2ヶ所のみ撤去改修されているにすぎない。

児童生徒の安全確保のため、危険ブロック塀等の所有者へ積極的に撤去改修をお願いし、早急に改善されることを望む。

地域交流センターの有効活用について

地域交流センターについては、心のケア・不登校対策事業等で活用されているが、さらなる有効活用策を探るべきである。

一般会計予算

反対

今野 章 議員

東日本大震災から10年、心の復興を含め取り組みは続く。新型コロナウイルス感染症は、地域経済、住民生活に大きな影響を及ぼしているが、予算はワクチン接種費用のみで持続化給付金や家賃支援など直接支援する予算がない。

未耐震の集会施設を行政区に移管することが検討されている。町北部では洪水など避難所機能を持つ施設が求められる。公的年金から個人住民税を天引きする制度が始まるが、口座振替など選択肢を用意すべきである。高齢者の安全な移動手段の支援が必要である。

正規保育士の確保ができず、保育の質と子供たちが健やかに育つ環境をいかに保障するかが問われている。後継者不足が深刻な一次産業への支援強化が必要。コロナ禍で農家は一層の生産調整を求められるが、減反頼みではない支援策を国に求めるべきである。

賛成

澁谷 秀夫 議員

令和3年度予算は、前年度比30億5800万円減の56億3000万円と東日本大震災前の水準に戻り、それに新型コロナウイルス感染症拡大防止対応や避難施設の維持管理費等が加わり縮小予算となっている。

計画されている事業の中から、主要なものを取り上げてみると①令和3年度における最大の責務と捉えている「新型コロナウイルスワクチン接種対策」②観光客の入込回復に大きなチャンスと考えられる「東北デステイネーションキャンペーン」や「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催に伴う広報発信③

明るく、のびのびとして教育保育が期待される「認定こども園施設整備事業」④駅前の利便さと活性化に繋がる「高城町駅周辺整備」⑤観光客や障がい者にやさしい「松島海岸駅整備事業への補助支援」等がある。これらの事業が着実に行われる事を望み、賛成討論とする。

後期高齢者医療特別会計予算

反対

今野 章 議員

この医療制度では収入がなくても保険料が課され、2年ごとに見直される保険料は、75歳以上の人口と医療費が増加するほど上昇する。負担が大きいと制度創設当初から低所得世帯を中心に激変緩和や負担軽減措置等が講じられてきたが、段階的に廃止されている。

また、年取200万円以上の医療費の窓口負担を2割負担とする法案が提出されるなど医療にかかりにくい状況が生まれている。

高齢になれば病気になるのは当たり前で、複数の病気を抱えた人もおり医療費も多くかかる。高齢になったら負担は軽くすべきだが、この制度では逆に負担が重くなる仕組みである。

この制度は、高齢者に我慢と犠牲を強いる制度であり、直ちに廃止し、国の責任で安心して高齢者が医療にかかれ、生活できるような制度設計にすべきである。

賛成

杉原 崇 議員

後期高齢者医療制度は少子高齢化が進む中、長年尽くされた高齢者の方々が安心して医療を受け続けられるよう開始されたものであるが、制度施行から10年以上が経過し、現在は安定した運営がなされており、引き続き、高齢者が安心して医療が受けられる体制を堅持しなければならぬ。

本町は申請者の届出の受付及び保険料徴収等を行っているが、後期高齢者医療制度に関する運用は、宮城県後期高齢者医療広域連合に委ねられている。

令和3年度の予算は扶助費である義務的経費がほとんどを占めているが、本町の高齢化率は39.0%と高くなっており、今後この制度の利用者も増えることが予想される。

宮城県後期高齢者医療広域連合と緊密に連携を図りつつ、本制度が円滑に運営され、今後とも被保険者の方々のために努めることを期待し、賛成討論とする。

介護保険特別会計予算

反対

今野 章
議員

介護保険制度がスタートし20年が経過した。ほとんどの期間は社会保険費削減路線が貫かれ、国庫負担は増やさず、国民には負担を押し付けの連続的改悪が続き、「保険あつて介護なし」、「必要な時に必要な介護が受けられない」状況が深まってきた。結果、国庫負担を減らし利用者や若い世代に負担を押し付けてきた。国は応分の負担責任を果たすべきである。

本町の介護保険料は、制度開始当初と比較すると、第8期の保険料は2.26倍となった。今後、要介護1・2も総合サービスへの移行、所得段階3を中心に食費などの値上げもある。年金が下がる中で負担増は高齢者の生活をますます厳しいものにし、介護労働者の処遇や労働環境の改善も必要である。税金の集め方と使い方を変えれば、もっと国民が大事にされる社会をつくれると考える。

賛成

高橋 利典
議員

加齢による要介護リスクをカバーするための、社会保障制度として介護保険制度が発足し20年が経過している。制度創設に際しては、高齢者がサービスを選択する契約制度を採用するなど、従来の福祉制度を抜本的に改める制度を含んでおり、20年の歳月を経て国民の間で一定程度定着してきている。

「介護予防・日常生活総合事業」は要介護支援認定の方の訪問型サービスと通所型サービスは介護予防給付費から総合事業に移行している。効果的な介護予防事業を実施するために、関係事業所と高齢者を支援する体制の構築を行うとしている。

介護保険サービスの利用の適正化や、介護認定者の重症化予防に関する事業の推進に積極的に取り組めるような基盤づくりに期待し賛成の討論とする。

みなさまからの請願

上竹谷地区代表の皆様からお預かりした請願は、令和3年第1回定例会において、総務経済常任委員会へ付託されました。

主な内容は次のとおり。

請願第2号

上竹谷地区に緊急一時避難所の新設を求める請願

◆趣旨

同地区は、吉田川洪水浸水想定区域内に位置しており近年の台風や豪雨による増水で危険な状況に見舞われている現状である。

有事の際の指定避難所である上竹谷生活センターは低位置にある。また、吉田川の氾濫や増水のおそれがある場合には、指定避難所の第五小学校へ向かうこととなるが、同地域の4割を占める高齢者や歩行困難者も生活しているため緊急移動が難しい位置にある。高台に緊急一時避難所を新設するよう望むもの。

請願第1号

中小企業・小規模企業振興基本条例の制定を求める請願は、令和3年第1回定例会において採択されました。



議長に請願書が提出されました。

議案 審議

第8期高齢者福祉計画 ・介護保険事業計画を策定

松島町高齢者福祉計画・
第8期介護保険事業計
画

質疑

赤間幸夫議員 包括支援センターに寄せられた相談などを題材にQ&Aや介護の手引など、一連の流れを確認できる対応はできないか。

健康長寿課長 サポートガイドブックの準備と内容はほぼ固まっているが、寄せられた質問などの反映について担当者と話めてみたい。

今野章議員 高齢者福祉計画は、介護予防の側面からの計画だが、高齢者の生活全般を捉えた計画にすべきで、庁内の連携は図られたのか。

健康長寿課長 この計画は、健康長寿課が所管で課内での完結となった。アンケート調査も行い、まずは健康保持、介護予防に重点を置いた。足りない部分は事業を進める中で取り入れたい。

討論

反対討論 今野章議員

高齢者福祉計画は、健康と介護予防に重点を置くが、買物や通院、移動手段、住宅事情、ごみ出しや灯油缶の持ち運び、孤立など生活全体を支える計画とすべきである。

介護保険事業計画では、保険料が約18%も引上げになる。負担増は高齢者の生活をますます厳しくする。社会保障費を削減する冷たい政治には反対である。

賛成討論 杉原崇議員

今後、高齢の単独世帯や夫婦のみ世帯、認知症の増加など介護ニーズは多様化する。団塊ジュニアが高齢となり、現役世代が減少する令和22年を見越した基盤整備が必要である。計画は、総合的効果的に高齢者施策を推進し、持続可能な制度運営を図るもので、町には計画等の周知と国への財政支援等の働きかけを期待し、賛成とする。

賛成多数・可決

松島町議会議員及び松島町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

質疑

今野章議員 自動車の契約は、1日1万5800円を限度に公費負担になるが、自動車と看板と拡声器が一体の場合はどうなるか。

選挙管理委員会事務局長 選挙運動用自動車の仕様は、車体基本料のみで、看板・スピーカーが一体の場合は分けることになる。看板等のサービスは、公選法の寄附に抵触するおそれがある。

色川晴夫議員 他自治体の選挙での不明点など参考に、事前の町民説明会などは考えられないか。

選挙管理委員会事務局長 初めてのことであり、通常の1か月前の立候補者説明会では遅いと感じる。今後、選挙管理委員会の中で検討したい。

賛成全員・可決

高額療養費貸付基金の設置及び管理に関する条例の廃止

質疑

今野章議員 平成23年度より貸付実績はないが、貸付残金の収入時期と延滞金の処理は。

町民福祉課長 貸付残額は、平成26年度に184万円ほどを不納欠損処理し、3万円の貸付未納金が残った。平成27年度、30年度、令和3年2月と延滞金の徴収はせず、全額納付に至っている。

賛成全員・可決

松島町国民健康保険条例及び新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正

質疑

色川晴夫議員 新型コロナウイルス感染症による国保税の減免状況は。

財務課長 減免は7月から順次受付し、令和3年2月末で申請者は96名、減免決定は91名。不承認が5名。うち4名は事業収入の減少額が10分の3以下にならず、1名は他収入で400万円以上の収入があったもの。

賛成全員・可決

介護保険料基準額 月額6600円に

松島町介護保険条例の一部改正

質疑

今野章議員 保険料の滞納及び給付制限、住民税非課税の人数を伺う。

健康長寿課長 滞納について、過年度分が88人、金額で540万円、現年度分が70人、金額で246万円である。給付制限対象者は4名である。

非課税（令和2年4月1日換算）は、第1段階857人、第2段階360人、第3段階370人、第4段階（本人非課税で世帯は課税）918名である。

討論

反対討論 **今野章議員**

介護保険料年額は、基準額で年7万9200円と国民年金1か月分以上となる。既に高齢者の負担は限界を超えている。町は、財政調整基金を取り崩すだけでなく、一般会計からの繰入れも視野に入れるべきである。

賛成討論 **杉原崇議員**

介護保険の財源で、町が3775万円の基金を取り崩し、負担緩和したことは評価できる。今後負担は増えると考えられることから、町民にしっかりと説明し、人材確保を含め、介護保険制度の健全運営に期待したい。

賛成多数・可決

松島町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正

質疑

今野章議員 人員基準の緩和やグループホームのユニット数の弾力化、夜勤職員の体制見直し、計画作成担当者の配置緩和など、人材不足のなか施設を回すための便法となるのではないか。

健康長寿課長 現在、認知症グループホームは2ユニットまでが、改正で3ユニットまで認められる。定員は1ユニット当

たり9人以内である。夜勤職員の体制は、1ユニット1人が、3ユニット2人の配置となる。人材確保が難しいがサービス提供に支障はないものと考えられる。

討論

反対討論 **今野章議員**

基準緩和は、施設入居者やサービス利用者の生活の質や豊かさと共に、働く職員の労働環境に関する問題でもある。利用者へのサービスの量が減るか、職員の労働強化が求められる内容であり、基準の緩和で介護労働者や利用者に負担を負わせる制度の継続は、制度の破たんにつながる。

賛成討論 **杉原崇議員**

今後、団塊世代の全てが後期高齢者となり、医療・介護ニーズが飛躍的に増加する。ニーズに合わせ介護の支え手も必要になるが、基準緩和は、介護現場や高齢者が安心して自分らしく暮らせる環境をつくり、継続した

サービスのために必要である。

賛成多数・可決

工事請負契約の変更

質疑

濫谷秀夫議員 運動公園の補償工事の中で安全費約220万円が増額となった理由を伺う。

建設課長 当初計画では、運動公園裏側入口を閉じて工事を行う計画だったが、出来るだけ利用者を通すこととしたものであり、交通誘導員延べ156人分の経費である。

賛成全員・可決

工事委託に関する変更協定の締結
(東北本線塩釜・松島間震ケ浦踏切安全対策工事委託に関する協定)

質疑

色川晴夫議員 住民から西行戻しの松側の道路が急勾配だという意見が寄せられているが、再検討できないか。

建設課長 勾配の変更はできないが、舗装する際の擦り付け関係や高さの調整は検討したい。

賛成全員・可決



ふるさとの魅力

てんこ盛りセット (2市3町の特産品販売)

2日間で完売

補正予算

一般会計補正予算

(第11号)

● 新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業費

▲ 2218万5千円

● 舗装補修事業

5000万円

質疑

杉原崇議員 マイナンバーカードの申請率向上に向けてどう取り組んでいくのか。

町民福祉課長

申請は2月末現在で24%で、県内では普及率が9位である。向上に向けてSNS等も活用しながら、引き続き住民受付に対応していきたい。

杉原崇議員

ふるさとの魅力で食卓を応援します事業について、購入者の評判など事業評価は。

企画調整課長

県内在住者はもちろん国内広く申



てんこ盛りセット

込みがあり、大変好評を得た事業であった。第2弾を求める声が非常にあるので、今後も2市3町で取り組める事業があると考えていきたい。

後藤良郎議員

高校就職活動対策事業を通しての高校生の採用状況は。

企画調整課長

本校の高校生が、2社の地元企業に採用された。また、塩竈、多賀城が約10名、七ヶ浜が5名、利府が3名程度の採用という中間報告が入っている。

議案審議

赤間幸夫議員 津波被災住宅再建支援事業補助金の減額の内容と今後の事業の考え方は。

企画調整課長

大震災発生時に津波浸水区域内の持ち家に居住し半壊以上の被害を受け、さらに住宅取得をされた方への補助であるが、令和2年度で事業打ち切りのため、来年度の決算認定後に返還の手続に入る。

赤間幸夫議員

復興基盤総合整備事業に負担金が増額されているが、その理由は。

産業観光課長

岩礫掘削した農地の面工事の一部不良に対する補完工事等の対策に伴うものである。

色川晴夫議員

障害者自立支援給付負担金が増額される理由は。

町民福祉課長

児童発達支援の中で未就学の障がい児に通所で支援を行う養育の場の利用者が、当初3名を想定したのが10名に増えたため今年度の不足分を増額するものである。

色川晴夫議員 子ども医療費助成について、大幅に減額されているが、その要因は何か。

町民福祉課長

今年度の前半は、コロナ禍における病院控えにより、入院・通院がかなり減ったことが要因である。ただし、1月、2月は、昨年に近い利用者に近い状況にある。

賛成全員・可決

令和2年度松島町介護保険特別会計補正予算

(第5号)

質疑

今野章議員 保険者機能強化推進交付金の算定方法と県内での位置は。

健康長寿課長

保険者機能強化交付金は高齢者の自立支援や重度化防止など自治体の取り組みを点数化し配分されるもので、当町は864点。介護保険保険者努力支援交付金は介護予防と健康づくりに資する取り組みに対し

て、当町は499点で、どちらも国・県より上回っている。

賛成全員・可決

令和2年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算

(第4号)

質疑

櫻井靖議員 コロナ禍での観瀾亭及び福浦橋の経営状況は。

産業観光課長

観瀾亭の観覧料の収入については、当初予算の約7割減、福浦橋は約4割減と見込んでいる。

賛成全員・可決

令和3年

第1回臨時会

1月26日

松島町国民健康保険税
条例の一部改正

質疑

今野章議員

国保税の引き下げということで均等

割と平等割合わせて1万円引き下げるといふことであるが、財源はどの程度必要になるのか。それから、子どもの均等割を全額減免するということがあるが、どれぐらいの財源が必要になるのか。

もう一つは、コロナの影響による国保税収の減が見込まれている。全協の説明では4000万円程度と聞いているが、現時点での見込みは。

町民福祉課長

応益で1万円引き下げた分については、今編成中であるが、1400万円ほどの減収見込みである。子どもの均等割全額減免については、330万円ほどの減

収見込みである。

コロナ禍に伴う経済状況に対する影響については、約2600万円の減収、税率改正に伴う減収は1400万円となる。

国保税の当初予算は編成中であるが約4000万円の減収と見込んでいる。

賛成全員・可決

令和2年度松島町一般会計補正予算(第9号)

質疑

赤間幸夫議員

新型コロナウイルスワクチン接種に必要な体制を整備するにあたって他市町との情報共有はどういう状況になっているのか。

健康長寿課長

町民に対する新型コロナウイルスワクチン接種は、各自治体が考えることになっている。しかし、ワクチン接種、予防接種関係になると、松島町は2市3町と塩釜医師会との協議で行われることが通常で、このたびも2市3町および塩釜医師会と協議を重ねている。

菅野良雄議員 心配されるのは、予防接種する医師や看護師の確保が非常に難しいと言われているが大丈夫か。

健康長寿課長

医療チームに関しては、現在2市3町と塩釜医師会で協議している。2市3町で約1日当たり10チームの医療チームが必要という試算をしている。

松島町に関しては、人口規模からすると医療チームは1チームということである。医師、看護師の確保について、医師会が調整するというところで、現在協議をしている。医師は、塩釜管内またはそれ以外の医師で確保のめどが立っているが、看護師の調整が難しいと伺っている。

賛成全員・可決

令和2年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第6号)

質疑

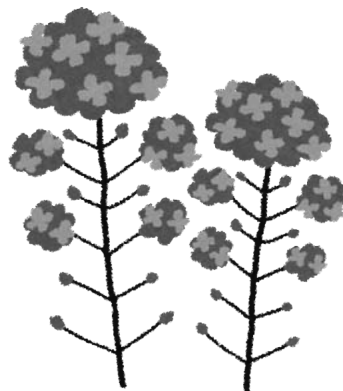
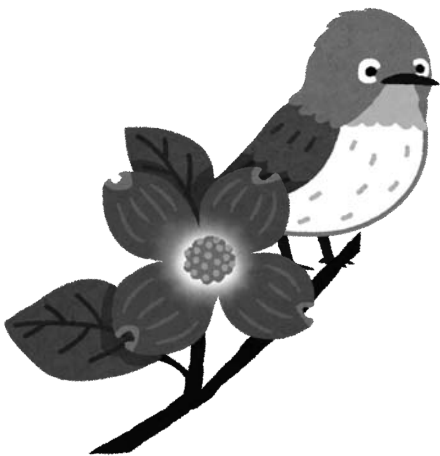
赤間幸夫議員

システム改修費用を補正するということであるが、単年度分か。

町民福祉課長

単年ではなく、令和3年、令和4年以降、今の入っているベンダーが続く限り内容が継続されるものである。

賛成全員・可決



令和3年第1回 定例会 提出議案

(専決処分1件、条例6件、補正予算7件、当初予算9件、その他4件)

**議案第4号 専決処分の承認を求めることについて
令和2年度松島町一般会計補正予算(第10号)**
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保等の経費の補正

議案第5号 松島町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画について
高齢者福祉施策及び介護保険事業を実施するにあたって、松島町議会基本条例の規定によるもの

議案第6号 松島町議会議員及び松島町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について
松島町議会議員及び松島町長の選挙運動の公費負担について必要事項の制定

議案第7号 高額療養費貸付基金の設置及び管理に関する条例の廃止について
該当条例の廃止

議案第8号 松島町国民健康保険条例及び新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正について
新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律に伴う関係条例の整備によるもの

議案第9号 松島町介護保険条例の一部改正について
介護保険料率の改定

議案第10号 松島町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について
省令の公布に伴う条例等について所要の改正

議案第11号 松島町町道の構造の技術的基準に関する条例の一部改正について
道路法等の一部を改正する法律の施行に伴う引用条項ずれの整理

議案第12号 工事請負契約の変更について
工事名 町道根廻磯崎線道路整備工事
変更金額 669,661,560円(59,122,440円減)

議案第13号 工事委託に関する変更協定の締結について
協定名 東北本線塩釜・松島間霞ヶ浦踏切安全対策工事委託に関する協定
変更協定額 82,898,630円(6,849,370円減)

議案第14号 令和2年度松島町一般会計補正予算(第11号)
新型コロナウイルス感染症の影響による各種事業中止等に伴うもの他、各事務事業の精査等による補正

議案第15号 令和2年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第7号)
一般保険者の療養給付費等の精査に伴う補正

議案第16号 令和2年度松島町介護保険特別会計補正予算(第5号)
介護保険給付費等の実績見込み等に伴う補正

議案第17号 令和2年度松島町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)
居宅介護支援事業の実績見込み等に伴う補正

議案第18号 令和2年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第4号)
事業費収入等の実績見込みに伴う補正

議案第19号 令和2年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第4号)
松島浄化センター長寿命化改築工事委託等の事業費の精査による補正

議案第20号 令和2年度松島町水道事業会計補正予算(第6号)
水道事業の給水収益の減収に伴う所要額の補正

議案第21号 工事請負契約の変更について
工事名 23災第15493号一級町道松島磯崎線(松島大橋)橋梁外災害復旧工事
変更金額 2,457,883,100円(150,797,900円増)

議案第22号 令和3年度松島町一般会計予算

議案第23号 令和3年度松島町国民健康保険特別会計予算

議案第24号 令和3年度松島町後期高齢者医療特別会計予算

議案第25号 令和3年度松島町介護保険特別会計予算

議案第26号 令和3年度松島町介護サービス事業特別会計予算

議案第27号 令和3年度松島町観瀾亭等特別会計予算

議案第28号 令和3年度松島町松島区外区有財産特別会計予算

議案第29号 令和3年度松島町下水道事業特別会計予算

議案第30号 令和3年度松島町水道事業会計予算

第1回 臨時会 提出議案 (1月26日)

(条例1件、補正予算2件)

議案第1号 松島町国民健康保険税条例の一部改正について
国民健康保険税の税率改正

議案第2号 令和2年度松島町一般会計補正予算(第9号)
新型コロナウイルスワクチン接種のための体制整備に要する事業費を補正

議案第3号 令和2年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第6号)
システム改修費用の補正

採 決 結 果 表

※阿部幸夫議員は議長のため採決に加わりません。

●第1回定例会（令和3年3月3日～18日）

【賛成全員・可決】

議案番号	議案名	議決月日
議案第4号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度松島町一般会計補正予算・第10号)	3月3日
議案第6号	松島町議会議員及び松島町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	3月8日
議案第7号	高額療養費貸付基金の設置及び管理に関する条例の廃止について	
議案第8号	松島町国民健康保険条例及び新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正について	
議案第11号	松島町町道の構造の技術的基準に関する条例の一部改正について	
議案第12号	工事請負契約の変更について	
議案第13号	工事委託に関する変更協定の締結について	
議案第14号	令和2年度松島町一般会計補正予算(第11号)	
議案第15号	令和2年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第7号)	
議案第16号	令和2年度松島町介護保険特別会計補正予算(第5号)	
議案第17号	令和2年度松島町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	
議案第18号	令和2年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第4号)	
議案第19号	令和2年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	
議案第20号	令和2年度松島町水道事業会計補正予算(第6号)	
議案第21号	工事請負契約の変更について	
議案第23号	令和3年度松島町国民健康保険特別会計予算	3月18日
議案第26号	令和3年度松島町介護サービス事業特別会計予算	
議案第27号	令和3年度松島町観瀾亭等特別会計予算	
議案第28号	令和3年度松島町松島区外区有財産特別会計予算	
議案第29号	令和3年度松島町下水道事業特別会計予算	
議案第30号	令和3年度松島町水道事業会計予算	

提出議案

【賛成多数・可決】

議案番号	議案名	議決月日	採	杉	櫻	緑	赤	高	片	澁	今	太	後	菅	高	色	阿	賛	反
			決	原	井	山	間	橋	山	谷	野	齋	藤	野	橋	川	部		
請願第1号	中小企業・小規模企業振興基本条例の制定を求める請願	3月8日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	12	1
議案第5号	松島町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画について		多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第9号	松島町介護保険条例の一部改正について		多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	1
議案第10号	松島町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	3月18日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	1	
議案第22号	令和3年度松島町一般会計予算		多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	1	
議案第24号	令和3年度松島町後期高齢者医療特別会計予算		多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	1	
議案第25号	令和3年度松島町介護保険特別会計予算	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	12	1		

○：賛成 ×：反対

●第1回臨時会（令和3年1月26日）

【賛成全員・可決】

議案番号	議案名	議決月日
議案第1号	松島町国民健康保険税条例の一部改正について	1月26日
議案第2号	令和2年度松島町一般会計補正予算(第9号)	
議案第3号	令和2年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第6号)	

令和5年
4月開園予定

認定こども園建設計画

報告事項

認定こども園
建設計画について

質疑

杉原 崇議員 認定こども園は、すばらしい施設だと思いが、運営する社会福祉協議会とどのような協議をしているのか。また、開園が令和5年4月1日で間違いないのか。

企画調整課長 昨年6月に幼児教育・保育に関して覚書締結後に打ち合せを重ね、社会福祉協議会が考える施設の理想などを取り入れ、近隣の里山を活用、また、運動公園と隣接することから運動などのイベントにも活用していくとしている。開園は令和5年4月1日を目指している。

全員協議会

澁谷秀夫議員 定住促進にも継がる特色あるこども園を目指すべきではないか。

町長 里山と運動公園を利用して「子どもたちが自然と触れ合い伸び伸びと育つようなこども園」と、社会福祉協議会の思いもある。

菅野良雄議員 子育て支援環境を整えるため、町長の強い指導力をもって早く進めるべきだ。

町長 社会福祉協議会とは、週に1・2回の会議を行い協議している。議員の意見も踏まえ、早期着工を目指していく。

櫻井 靖議員 こども園の定員が120名ということだが、120名以上の応募があった場合はどう考えているのか。

認定こども園準備室長 定員を上回った場合は、現在と同様の判定に応じて入所の順位を決めていく。

赤間幸夫議員 開発行為の事前協議は終わっているのか。また、開発の許可権者は。

企画調整課長 市街化調整区域で事前協議を進めており、開発要件4000平米以内、延べ床1000平米以内の要件で手続を進めている。

片山正弘議員 認定こども園基本設計の主体は町と社会福祉協議会どちらなのか。

副町長 一つ一つの行為が社会福祉協議会名で進んでいくが、町は用地買収、土地造成などでアドバイスしながら一緒にやっていく形になる。

色川晴夫議員 園児の送迎は行わない理由と駐車場25台のスペースでは足りないのでは。

企画調整課長 送迎については、保護者の就労が異なり、朝7時から9時の間での登園と15時から19時に降園と形態があることから送迎は考えていない。また、駐車場は、保護者や用事のある方の駐車場、職員については、こども園の北側に停めることになる。

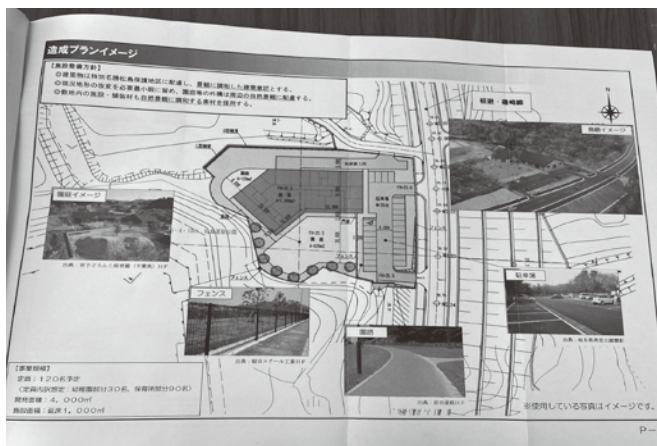
協議事項

①松島町高齢者福祉計画第8期介護保険事業計画(素案)について

質疑

今野 章議員 コロナ禍にあって、クラスターも発生している状況の中、介護事業所などの対応をどうするのか。

健康長寿課長 医療機関や介護施設は、常に感染のリスクを背負い運営している厳しい中、十分考慮して行っている。



町から示された計画案

今野 章議員 介護保険の保険料は、スタート時に比べ3倍以上で、第1号保険者の負担が大き過ぎ、国で議論すべきでないか。

町長 国保と介護のアンバランス、特にコロナ禍で高齢者施設等に国の支援が直接いくような声を上げていく。

赤間幸夫議員 保険料6600円は、基金2700万円を投入し10000円の値上げで抑えたというが、これは町長の介護への思い入れか。また政策的なものか。

町長 最初の提示金額はこの金額より大きい数字であった。県内自治体と比較し担当に話をした。

②松島町議会議員及び松島町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例(案)について

質疑

今野 章議員 供託金制度は、被選挙権者に障害になることもあるが。

選挙管理委員会事務局長 公職選挙法改正は、町村議員に立候補する環境改善もあり、多くの方に立候補してもらいたいというのだが、供託金を課すことで矛盾するとの議論もある。

緑山市朗議員 選挙運動自動車を契約した旨の届出を提出となってるが。

選挙管理委員会事務局長 公費負担の申請は、告示日になる。契約書の写しを添付してもらう。

菅野良雄議員 選挙運動用ビラも公費負担となるが、はがきはどうなるか。

選挙管理委員会事務局長 はがき800枚と今回からビラ1600枚まで認められる。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会報告

昨年1月新型コロナウイルス感染症の発症から1年4ヶ月が経過した。昨年4月に緊急事態宣言、今年1月は首都圏中心に緊急事態宣言・感染が広がっている。この間、本特別委員会は調査と町に提言を行ってきた(議会だより第143号、第144号)。

また、期待されるワクチン接種が医療関係者から始まり、4月12日より高齢者の接種も始まることから、その対応について調査を行った。

調査事項

- 1) 町内における新型コロナウイルス感染症状況について
- 2) 新型コロナウイルスワクチン接種に係る進捗状況について
- 3) 国の第3次補正における町での支援事業について

主な意見

- パルスオキシメーター10台の貸し出し状況は、無症状者の把握が大事である。町内でPCR検査した方は何人か。
- ワクチン接種での副反応や当日キャンセルの場合の対応は。
- 平日の接種が難しい人の対応は。
- アナフィラキシーなどの副反応の対応は。
- 昨年4月の緊急事態より、事業者は深刻であり直接的な事業者支援を。
- オゾン発生装置で感染防止策を。
- 町独自の支援策を。
- その他、多数の意見

東日本大震災復興対策特別委員会

東日本大震災発生から3月11日で10年が経過した。松島町地域防災計画の改訂を受け、昨年12月8日、本特別委員会を開催し意見の集約に努めた(議会だより第145号)。

これを踏まえ、本特別委員会は以下のとおり、町に意見書を提出した。

①松島町地域防災計画について

指摘や要望等はないが、当該計画について住民に周知する際には、計画内容等を分かりやすく伝えるために工夫すべきである。地域防災計画は、そのときどきに適するよう随時見直すことが望ましく、原子力災害対策を含め、当該計画に係る個別計画についても、策定、見直しの際には、議会にもその内容を示すことを望む。

②東日本大震災復興交付金事業の進捗状況について

避難施設や避難場所の今後の活用方法について、具体的な方針を示すことを望む。避難道路については、交通量が多い箇所や危険と思われる箇所には、信号機を設置するなど安全対策に努めるべきである。また、災害公営住宅の今後の入居者条件等、運営方針を決める必要があり、その対策を望む。



すぎ はら たかし
杉 原 崇 議員

問 認定こども園開設による、魅力ある教育環境の充実を

答 エリアの特性を生かしながら、園舎にとどまらない活動環境の整備を図っていく

問 現時点での進捗状況は。

教育長 2月16日に社会福祉協議会と、事業の目的や事業実施業務、費用負担を定める施設整備に関する協定を締結した。

問 全員協議会で示された駐車台数が25台と少ないが、送迎時間が集中した際の交通安全対策は。

企画調整課長 駐車場の配置や台数について、改めて検討しながら、利用者の動線、安全対策をもう一度考え直して、それらを盛り込んだ計画としていく予定である。



認定こども園イメージ図

問 運動公園への遊歩道利用として、多目的運動場の南側にある駐車場の活用を。

企画調整課長 関係機関と協議し、山手側の駐車場の活用についても、改めて検討していきたい。

問 現場の保育士・幼稚園教諭、また教育委員会内で話し合いは行われているのか。

町長 現場の保育士、幼稚園の先生方、また教育委員会との話し合いについては、認定こども園の建設計画、スケジュール案などを示しながら説明は行っているところであるが、これから具体的にいろんな議論がされて、1つの目的に向かって進んでいくものと捉えている。

問 新聞報道された「特色ある教育方針」とは、どのようなものを描いているのか。

企画調整課長 地域を生かしたゾーニングを行い、園舎にとどまらない活動環境の整備を図ることで、他にはない幼児教育・保育の環境を整える。

問 令和7年度の第五幼稚園の認定こども園化と同時に、学区外からでも入学できる小規模特認校制度を活用し、第五小学校と一体となった、他の自治体にはない特色ある教育を行うことが、移住定住策に繋がると考える。例えば、英語教育とプログラミング教育の融合、理数教育の充実、音楽やアートなど芸術に特化したものなど、魅力ある教育活動を展開すべきと考えるがどうか。

教育長 教育委員会では、保・幼・小連携をうたっており、認定こども園と連携して、特色ある園経営、そして小学校に結びつくようなことをお願いしたい。

第五小学校の存続の打開策の1つとして小規模特認校制度もあるが、地域やPTAの方々の意見、町のスタンスもあるので、ベターなやり方で選択していければと思う。



第五幼稚園



さくら い やすし
櫻井 靖 議員

問 コロナ禍でも健康診断は大切

答 未受診者へ受診勧奨はがきの送付を行っていく

問 令和2年はコロナ禍であり、全国の自治体で健康診断を受けた方が減っているといわれている。松島町の検査の受診率は例年と比べてどうだったか。

また、健康診断を受けない方が増えたおかげで、例年に比べ、ガンの未発見者が全国で1万人以上増加したと言われている。受診率の向上に努めてほしいが、今後の対策は。

健康長寿課長 令和2年度の総合健診については、密を避けるため、受付時間を例年よりも1時間30分延長して実施したが、健診期間中の全体の来場者数は昨年よりも7・5%減少した。

令和3年度は、利府松島商工会や七十七銀行、イーアンドコープなどと連携をし、地域に向向いの健康相談を実施し、その中で受診勧奨をしていきたい。

問 若年期の世代に対し、健康について関心を持ってもらうための具体的な考えは。

健康長寿課長 特定健診の受診率は40代、50代でほかの年代を大きく下回っている。18歳から39歳までの方を対象とした青年健康診査でも受診者数も例年150人から200人で大変少ない人数となっており、若年層への受診率向上への健康意識の向上は、重要な課題であると考えている。



問 より一層の受診率向上を目指して、町民に健診の重要性を訴える必要があると思うが、その具体的な対策は。

健康長寿課長 健診受診率の向上を図ることは、疾病の早期発見や重症化予防、さらに町全体のことを考えると、医療費の削減につながる。各種健診の申込み案内の発送時、

それから健康保険証の更新時などに健診を受けるメリットや、早期発見の割合などの情報提供、周知などを行っていく。また、未受診者の方への受診勧奨はがきの送付や、休日健診の実施について広報やホームページ、インスタグラムなどを活用して周知を行っていく。



血圧は大丈夫かな？



議員 良雄 野 菅

問 水道蛇口の感染症予防対策を

答 国の第3次補正で対応

町民福祉課長 国の第3次補正予算において、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、各保育所の蛇口を自動水栓化することを考えている。第五小学区のどんぐり学級は、品井沼農村環境改善センターを使用しており、現在施工中のトイレ改修工事で洗面所が自動水栓化となる。

問 手洗所の回転蛇口を介して新型コロナウイルス集団感染症が広がったことから、小中学校の非接触型自動水栓が導入されている。クラスター対策として役立つものと思うが、教育施設に導入する考えについて伺う。

教育課長 学校施設は、保育所と同じように国の第3次補正予算を活用して、幼稚園および小学校の水道蛇口の自動水栓化を。また、中学校は水道蛇口をレバー式へ変更する予定である。

問 特別延長保育時間を延ばして

答 勤務体制を鑑みながら検討

問 第五小学区の母親有志から特別延長保育時間をさらに延長してほしいという要望がある。

町長 特別延長保育に対する利用者のニーズは多くも園の運営主体となる社会福祉協議会においても、様々な計画があると聞いている。



一般質問



町民福祉課長 保育時間を延長することは、松島の町特色ある子育て支援策としてアピールできると思われる。今後、保育所の現状や保育士の勤務体制を鑑みながら、検討していきたい。

問 若者の地域活性化事業に支援を

答 できる範囲で支援したい

問 地域活性化と住民の利便性を図る目的で、品井沼マルシェを開催している。1日だけの小さなマルシェであったが、地域の方々に暖かい時間を与えている。開催した若いお母さんたちからの要望である。これから定期的に開催し地域の行事として定着させたい。そこで、マルシェが軌道に乗るまで町からの補助をお願いしたいとのこと。地区計画に指定し地域の活性化を推進する町が若い

方々が取り組む地域活性化事業に支援しないわけにいかないのではないかと町長の考えを問う。

町長 昨年12月、品井沼農村環境改善センターを会場にして品井沼マルシェを開催し、お菓子や野菜、焼きそば等を販売し、主催者、お客さん大変好評だったと聞いている。こうした活動は地域活性化の一端を担っており、できる範囲で支援したい。





ごとう よし ろう
後藤 良郎 議員

問 新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種体制等について

答 ワクチン接種記録の新システム導入を検討していきたい

問 国の第3次補正予算の成立に伴い、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業に係る各自治体への補助金の上限額が通知されたがそれに対する取り組みを伺う。

町長 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業については、ワクチン管理および接種業務、相談窓口の設置など必要な体制の確保に努めています。

問 ワクチン接種の円滑な整備のために検討されている新たなシステムの導入については予防接種台帳のデータ化の短縮や、住所地以外の施設に入所している方および高齢者への巡回接種あるいは職

場、職域での接種を今後検討するにあたり、新システムを取り入れるべきと考えるがどうか。

健康長寿課長 予防接種台帳のシステムはすでに改修手続が済んでいるが、新システムの導入についても検討するというところで、準備を進めていきたい。

問 当面ファイザー社のワクチン接種について、国からは集団接種方式や個別接種方式等が示されているが、町はどう取り組まれるのか。

健康長寿課長 基本的には保健福祉センターでの集団接種方式で考えているが、今後アストラゼネカ社や武田モデルナ社が承認された場合には、集団接種と並行して個別接種などもあり得るのではないかと考えている。



保健福祉センター

問 ワクチン接種の順位について、例えば訪問看護などのエッセンシャルワーカーの取扱いについては、関係機関と連携を取りながら柔軟な対応が必要ではないか。

健康長寿課長 国は自治体の判断で新型コロナウイルスワクチンを優先接種できるようにするという方針を固めたという新たな情報があり、国から町に指示があると思われるが関係機関と調整の上、適切に接種を行っていき

問 ワクチンの安全性および有効性やその他の情報について町民に周知することは大事であると考えているがどうか。

健康長寿課長 通知文書にワクチンに関する資料を同封することや接種後に経過観察の場があり、その時にワクチンに関する情報提供を行うことや町のホームページへの掲載など準備をしている。

大切な人を守るために

無料 新型コロナウイルスワクチン接種がまもなくはじまります

ワクチン接種に関する重要なお願い

現在、町に配分されるワクチン本数が大変限定されています。1本も無駄にすることなく、速やかに希望する市民の皆様にご接種いただくため、ワクチン接種を受けられない方や施設入所中、入居中、単身社在中等で保健福祉センターでの集団接種を受けられない方は、新型コロナウイルスワクチン接種対策室までご連絡をいただきますようお願いいたします。

なお、ワクチン接種は国民の責務とされていますが、強制するものではありません。ワクチン接種のメリットとデメリットを考え、接種するかどうかをご自身で判断してください。

【メリット】	【デメリット】
今回新たに承認された新型コロナワクチンの2回接種によって、95%の有効性で発熱やせきなどの症状が出ること(発症)を防ぐ効果が認められています。	どんなワクチンでも、副作用が起きる可能性があります。
	ワクチン2回接種後の国内感染の状況
	・接種部位の痛み 約80%
	・37.5度以上の発熱 約3.3%
	・倦怠、倦怠感 約6.0%

●問い合わせ 広島市新型コロナウイルスワクチン接種対策室 ☎355-0667 (受付時間 平日 午前9時30分～午後5時)

※ワクチン接種に関する国の最新情報は2月19日現在のものです。今後変更される場合があります。

広報まつしま別冊より



あきら 野 章 議員
の 今

問 安全・安心の水の供給は大丈夫か

答 県の責任で安全性は担保される

問 宮城県は、コスト削減を目的に浄水場等の運転管理を民間に委ねる「みやぎ型管理運営方式」の導入を進めている。民間事業者に20年間の運営権を与え、外国資本を含む企業グループが応募している。コスト削減で水質の低下など、安全安心の水供給に不安は拭き切れないが、町はこの委託をどう見ているのか伺う。

町長 「みやぎ型管理運営方式」は、上水、工業用水、下水道の事業を一体的に運営するもので、スケールメリットの発現や民間事業者の創意工夫でトータルコストの削減効果が反映し、料金の上昇抑制が期待できる。上水道は命に関わり、

民間委託後も、県の責任で安全性が担保される。

競争的対話後に修正？ 公平性が損なわれたのでは

問 「みやぎ型管理運営方式」では、第1次審査後に競争的対話が行われる。競争的対話を通じて、実施契約書で116項目、要求水準書で46項目もの修正が、事業者に有利な形で行われた。応募事業者に対する公平性が著しく損なわれたと思うが、町の考えは。

水道事業所長 公募手続は、競争的対話の終了後、昨年12月24日、募集要項等の改定がされた。募集要項の改定は、応募者の提案が県の期待にかなうものか、専門家で構成されるPFI検討委員会で審議され、決定されたこと認識をしている。

問 「みやぎ型管理運営方式」は、運営権者が任意事業として市町村の上下水道事業等を受託できる。本町は運営権者への委託を検討するか伺う。また、運営権者に事業委託した場合、地元水道事業者などにも影響が出てくると思うがどうか。

水道事業所長 県の承認が必要で、運営権者に業務を委託することが効果的と判断できる時、市町村の判断で選択できる。町としては不透明な部分もあり、県の動向等を注視したい。また、町内業者への影響は、今の段階では把握が困難な状況である。

問 広域連携検討会が設立されているが、開催状況や検討内容を伺う。

水道事業所長 県内を4地域に分け検討会を開催。令和2年3月には各地域

の現状等のシミュレーション調査結果を公表している。現在、広域化シミュレーション結果に基づき2市3町を対象に、県主催で勉強会を開催し、情報収集を進めている。



二子屋浄水場



みどり やま いち ろう
緑山市朗 議員

問 町内の児童・生徒の学力向上策は

答 教師の指導力アップ等を図っていく

問 令和元年度の全国標準学力調査の結果を見ると、本町の小・中学生の学力レベルが低いと思われる。特に中学校では国数英3教科合計で全県平均より11点、全国平均より15点も低い。



松島中学校

教育長 中学校はそのようになっている、小学校は国数2教科合計で3つの小学校平均が全県平均と比べて遜色はない。小・中学校とも正答率の差異が3%程度であれば学力的にはほぼ同等という解釈をしている。

問 私の持っている資料に松島中学校の現3年生が3年間で計12回受けた県下一斉の実力テストの成績結果では、国数英理

社5教科合計で全国平均268点に対して松島中学校は239点で29点も低い。高校受験にも影響が出ているのではないかとこのことについての認識は。また、学力向上の方策は。

教育長 資料は、業者テストで全国調査と同等に比較することはできないが、低いことは認めざるを得ない。学力というのは、大きな教育の一部分を担っているだけであってそれだけを注目すべきでないと考えます。また、学力形成は個々の資質、親の教育歴や経済力も関係しているが、最も重要なのは、教師の指導力にあるので、研修や人事等を配慮していきたい。さらには、指定校などを通して教師の力量アップにつなげたい。

問 陽徳院前の蓮池の水質汚濁の改善を

答 流入水の水源の確保を検討する

問 瑞巖寺隣りの陽徳院前の蓮池の極度の水質汚濁が極度に進んでいる。異常に増殖したスイレン(浮草)が蔓延し、時に鯉の死骸も浮かんでいる状態である。水流がろくにないので汚濁がひどくなってきた。蓮(根はレンコン)は現在2株となりそれも貧死の様相である。このままではスイレンだけの池になってしまう。元来無かったスイレンをすべて除去し本来の蓮池を復活させてほしい。

産業観光課長 水質汚濁の一番の原因は流入水の水源が確保できないので対応が困難な状況が続いている。池底の酸素不足いわゆる嫌気という状態になっていると思われる。蓮の枯葉の除去、スイレンの除去や伐根もしている。対策は専門家の意見を聞いて検討する。また、地元の方等とも相談して対応する。



蓮池



あか ま ゆき お
赤間 幸夫 議員

問 認定こども園オープンめざして

答 社会福祉協議会が事業主体者となって進行していく

問 既設保育所・幼稚園（7カ所）を、認定こども園建設に至る経緯とは。

町長 平成29年1月の子ども・子育て会議の答申や松島町議会、教育民生常任委員会との意見交換の中で、保育所、幼稚園の再編や認定こども園など幼保一元化を、視野に入れながら考えるべきとの意見を受け、認定こども園整備の準備に着手した。

問 少子化に歯止めをかけ、安心して子育てできる環境と本町の特徴ある教育とがマッチした認定こども園の建設地に対する考えとは、どのようなものか。

町長 子どもたちがいろいろなことが体験でき、津波の心配は一切する必要がない高台であり安心できる場所を第一義に、子育て環境として活用が見込める自然があり、運動公園が近接していることなど好適地である。

問 社会福祉協議会との協定方式による建設計画と施設運営の在り方については、どのような考えに基づくものなのか。

町長 前例である丸森町のケースを参考に、社会福祉協議会が認定こども園に関わって運営される方が、高齢者福祉等々で実績があり、どういう団体なのか分かっているので安心感が一番であることを考慮した。

問 概算費用における町と協議会の負担割と運営資金調達の考えは。

企画調整課長 社会福祉協議会が概算費用の37%、町の持分が36%で、これまでに社会福祉協議会と町とで調整を図り、様々な機関に融資の相談手続の準備を進めている。

問 利用料は、どの様になるのか。

企画調整課長 町の認定こども園建設準備室にて、事務、技術面を同時進行で、来年度進めていく。

問 ゴミ排出量への取り組みの状況は

答 分別の徹底や減量化を行っている

問 一般家庭ゴミ排出量の実態と、取り組み施策と効果を町民へ公表しているのか。

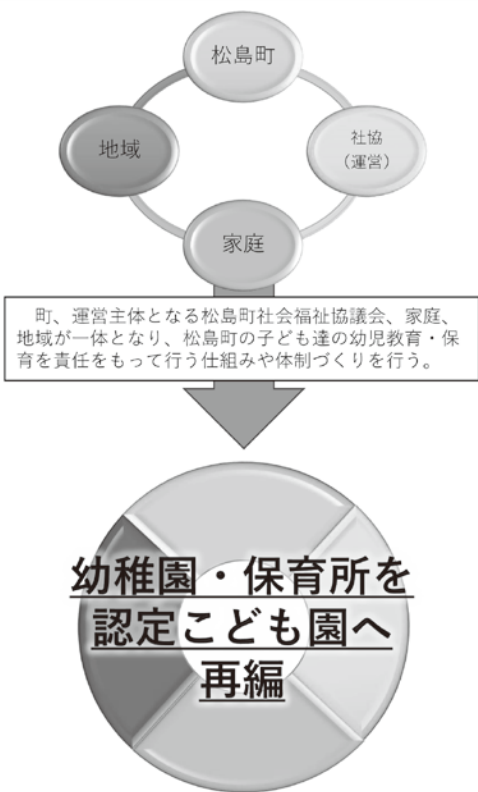
副町長 各家庭から排出される家庭系ごみは、数字的には減少傾向にある。

問 太陽光発電事業もたらず様々な影響への行政指導・介入の在り方は。

副町長 要綱により現実に即した対応を心掛け、取り組んでいく。

総務課長 家庭ゴミ分別事典を作成し全戸配布、公衆衛生連合会や行政区の協力を得て分別の徹底、減量化を行ってきた。

町ぐるみの子育て環境（イメージ）





たか はし とし のり
高橋利典 議員

問 松島北部地区圃場整備事業の推進は

答 必要性は認識している 財政状況を見ながら調整していく

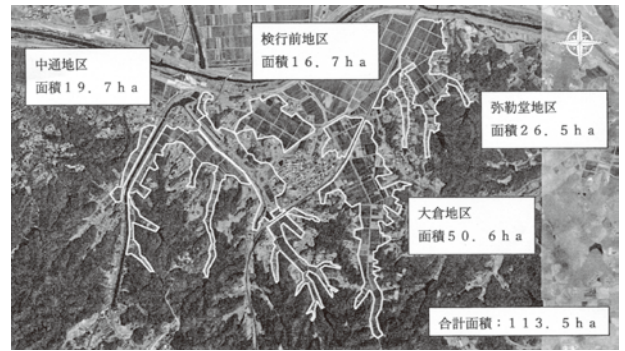
問 圃場整備事業は平成15年より、圃場整備担い手育成型と土地改良総合整備事業と担い手の育成および担い手の支援を合わせた経営体の育成基盤整備事業に変わってきている。町の基盤整備に対する考え方を伺う。

町長 町の農業の競争力を強化するには、圃場の大型区画化、汎用化等の基盤整備により、担い手への農地集積・集約化や高付加価値を図ることが重要であると認識している。

問 担い手という認定農業者の人数や平均年齢は。

産業観光課長 町での認定農業者数は66人になっている。北部においては30人になっており平均年齢は63歳になっている。

問 農業者の高齢化が進み担い手育成を図る上でも、意欲のある農業形態の育成が急務である。北部地区においては、松島北部基盤整備促進協議会を平成26年に立ち上げ、農業競争力強化基盤整備事業として推進を図って



松島北部地区鳥瞰図

いる。既に基盤整備に対する同意は98・28%となっているところでもある。それによって同意聴取の報告および地形図の作成を町に依頼し、事業の実現に向けて活動しているところでもある。圃場整備の実現に向けた町の取り組み、そして考え方を伺う。

副町長 事前調査では、地権者の負担を伴わない調査や町・国・県で検討する事項があり、これ自体に大体4〜5年位要する。圃場整備の工事を実際やる期間としては、5〜6年とし、単純な面積割で計算すると、町の負担は6億円位、10年以上の事業期間となる。必要性は認識しているが、今すぐ事業に着手することは、難しいと思っている。財政計画とか事業費その他を見ながら内部で調整をしている段階である。

問 まず調査費をつけて進めてはどうか

副町長 圃場整備を進める上で、国・県の国費は入ってくる。今試算で12年ぐらいかかると見ている。スタートしたら、年月をかけて費用を負担していくことになり、十分に財政的なことや、様々な面を検討して物事に着手していきたいと思っ

ている。事業を全て置き去りにするというのではなく、行政運営の1つの事業として毎年検討していく。



松島北部地区図面



川 晴 夫 議員
いろ かわ はる お

問 新型コロナウイルス感染症収束後と JR 松島海岸駅バリアフリー化竣工後の観光戦略は

答 花火大会の開催は、コロナの状況をみて

問 念願の JR 松島海岸駅バリアフリー整備工事が令和元年7月から始まったが、完成と供用開始はいつか。

町長 新駅舎の供用開始は12月頃で、その後仮設の駅舎を解体する。

問 新駅構内に予定されている案内所と物販は決めたのか。また広さは。

産業観光課長 駅1階に観光案内、物産、待合スペースで、観光案内所は町と JR とで協議中である。物販は JR 関連会社による運営となる。

問 令和元年第2回定例会の質問「東日本大震災復興工事と JR 松島海岸駅の竣工を感謝し花火大会を」と提言したが、町長は前向きな答弁であったか。

町長 震災から10年目の節目と多くの方々への感謝をこめ、花火を上げていきたいと思っている。時期については、コロナの状況を見て判断する。

問 コロナ禍での観光戦略は。

町長 現在の状況下では、インバウンドは期待できないが、国内観光客向けに親善大使のプロモーションや教育旅行で、去年来ていただいた学校に呼びかけをお願いしている。また、イベントについては、中止ありきでなく、いかに開催できるかを検討していく。



松島海岸駅イメージ

問 観光シーズンでの県道赤沼・松島線長老坂の交通渋滞と三十刈駐車場について

答 渋滞解消に向け引き続き要望活動していく

問 昨年10月、Goto キャンペーンや地域共通クーポンそして、大型観光施設がオープンしたこともあり、休日や連休時は人出と同時に交通渋滞が激しく、特に長老坂は大渋滞が連日続いた。町は、解消に向け県にどのような陳情をしているのか。

町長 渋滞対策では、塩釜広域行政連絡協議会で知事に直接要望した。また、国・県の会議にも同様の要望もしている。今後も、引き続き要望活動を実施していく。

問 松島海岸駅前の県道と国道45号交差点の信号は、歩行者と車の流れが非常に悪い。そこで歩車分離の方法を検討すべきと思うが。

建設課長 交差点の信号時間は、車は26秒、歩行者は19秒で7秒しかなく、限られた台数になる。歩車分離について協議しているが、逆に国道45号の渋滞を引き起こす可能性もある。国交省と引き続き検討していく。

問 三十刈駐車場は主に観光客向けに整備されたが、昨年10月以降同じ車が駐車し常態化している。町は認識しているのか。

産業観光課長 現場を確認し、同じ車が駐車していることを認識している。特定はできないが、お話しをさせてもらっている。

一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務 組合議会

令和2年第4回定例会
令和2年12月25日(金)
開催

①行政報告
火災発生件数 31件
死者 1名
負傷者 16名
救急出動件数 7543件

要介護認定審査判定 3881件
障害支援区分審査判定 192件
し尿及び浄化槽水泥搬入量 5822t
塩釜斎場利用数 1465件
②議案の審議状況
6議案 賛成全員可決
片山 正弘議員
後藤 良郎議員

宮城東部衛生処理 組合議会

令和2年第1回臨時会
令和2年11月25日(水)
開催

①議案審議状況
条例改正 1件

令和2年第4回定例会
令和2年12月24日(木)
開催

①行政報告
令和2年度のごみの搬入状況(11月現在) 3万3578t
前年同期比 211t増
松島町分 4192t
前年同期比 407t 8.85%減
焼却灰、排出ガス中の放射性物質および埋立地浸出処理水、地下水、各施設敷地空間放射線量
ヨウ素131不検出、その他は基準以内もしくは不検出

②議案の審議状況
令和2年度補正予算 1件 賛成全員可決
今野 章議員
櫻井 靖議員

宮城県後期高齢者 医療広域連合議会

令和3年第1回定例会
令和3年2月2日(火)
開催

①議案の審議状況
令和3年度一般会計予算 歳入歳出総額 6億7305万6千円
令和3年度特別会計予算 歳入歳出総額 2549億9062万1千円
他に、条定改正2件、補正予算1件、議員提案による意見書。
以上、すべて原案の通り可決
緑山 市朗議員

議員研修会(ICT研修)

令和3年1月28日、石田沢防災センターで、(株)ドコモCS東北より講師を招き「議会のICT化はなぜ必要なのか〜自治体DX化」を主題に研修が開催された。研修は、リモート形式で行われた。①議会のタブレット導入目的と活用②議員の働き方改革③情報共有の迅速化④災害時の有効活用等の講義を受けた。



タブレットを使用



リモートの様子

各議員は、iPadを使いながらチャットでの会話や写真撮影を行い操作性や利便性を確認。議案書等のペーパーレス化で紙書類と輸送コストの削減や、情報共有で町情報をお互いに把握すること、普段での議会活動や災害時の安否確認など円滑な意思疎通を図れることが期待される。
また、タブレットを活用した、対面式会議をWeb方式に切り替えて感染リスクを抑えることも可能となる。

議会活動

◆主な活動内容

令和2年
12月8日(火)、
12月21日(月)
東日本大震災復興対策特別委員会
令和3年
1月26日(火)
令和3年第1回松島町議会臨時会、全員協議会
1月28日(木)
議員ICT研修会
2月19日(金)
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
3月3日(水)から
18日(木)まで
令和3年第1回松島町議会定例会
3月22日(月)
令和3年第2回松島町議会臨時会、全員協議会

このほか、各常任委員会、議会運営委員会が開催されました。

町民の声



いな がき まさ お
稲垣 雅雄さん
(幡谷)

自然豊かな幡谷の 楽しい田園生活

幡谷くぬぎ台に移住し12年が経ちました。この地域は、江戸時代の品井沼干拓により豊かな田園風景が広がっています。団地の近くには松島第5小学校・第5幼稚園・JR品井沼駅もあり、大変便利で自然豊かな里地共生地域です。

日頃は、分館活動、小学生の品井沼干拓研修案内、パークゴルフ等を楽しんでいます。3年前に「松島北パークゴルフクラブ」を地元有志と立ち上げ、会員32名で月2回の定例会を楽しんでいます。

会を楽しんでいます。パークゴルフは、各自スコアを数え、1日1万歩以上を歩くので「心と体の健康」「脳の活性化」にも大変効果があります。また、大いに楽しみ、笑い合うことで「免疫力」を高める効果もあります。興味のある方はぜひ体験してみてください。

町内にパークゴルフ愛好者が増え交流の輪が広がり「地域コミュニティづくり」に少しでもつながって行けばと思っています。

次回定例会は 6月10日(木) 開催予定です。

議会傍聴の注意

新型コロナウイルス対策に、ご理解とご協力をお願いします。

- ・議場への入場時は、体温チェック・手指消毒・マスク着用をお願いします。
- ・いつもより熱がある・体調がすぐれない方は、議場への入場をお断りさせていただきます。
- ・役場庁舎1階の町民の部屋でも議会の様子を視聴できますので、ご利用をお願いします。

自治功労者表彰



高橋幸彦 議員
宮城県町村議会議長会表彰
全国町村議会議長会表彰



菅野良雄 議員
全国町村議会議長会表彰
(長期在職功労者)



松島町議会の議員として、多年にわたり地方自治の振興発展に尽力された功績により、それぞれ表彰を受けました。

編集後記

令和3年3月3日から議定例会が開催され、3年度の予算案について審議されました。一般会計は、56億3000万円となり前年比35.2%の減額となりました。その要因は、東日本大震災の復興事業が完了することによる事業費の減額が主なものです。

議会は、人口減少が進むとともに、高齢化率が39%に達している町の予算案が町民皆さまの福祉向上のためになるのか等、慎重に審議し可決しました。

今後、この予算が適法・適正に、かつ公平・効率的に運用されるか批判と監視をしてまいります。私ども14名の議員は、12月任期満了となりますが、残された期間しっかりとその責務を果たしてまいります。

コロナ感染症の終息に見通しが立たない中ではありますが、時間の空いた時に、議会の傍聴をしていただきながら、ご指導・ご協力いただければありがたいものと思います。ご協力よろしく申し上げます。

(菅野 良雄)

広報広聴常任委員会 広報分科会

- | | |
|----|-------|
| 会長 | 櫻井 |
| 委員 | 杉原 崇 |
| 委員 | 緑山 市朗 |
| 委員 | 瀬谷 秀夫 |
| 委員 | 今野 章 |
| 委員 | 色川 晴夫 |